政策コメンテーター報告（第3回、意見照会期間：2014年10月24日～11月5日） 伊原木 省五：株式会社天満屋代表取締役社長

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び（正規比率の上昇を含め）や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ（設備投資計画の動向も含む） ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向（一時的要因を除いた実勢と期待物価） ⑤ マーケット（株価、為替、金利等）の動向	目指すべき姿についての仮説に基づきそれぞれの指標の検証行う必要があるのではないか。数値は好結果でもその要因は期初の想定とは大きく異なることがある。例えば、好調なインバウンド消費のみによる小売売上の増加は国民の賃金や雇用環境の好転によるものではなく、政策と結果の因果関係が薄く、今後の見通しに大きく支障をきたす恐れがあると思われる。 また、将来不安払しょくという心理面の指標も必要ではないか。賃金上昇や企業集積改善が果たされても、それにを消費や投資に回すためには社会のどういう側面がそれを後押しするのか、あるいは抑制するのかというマインド面についても検討が必要と思われる。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身（自社）の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方百貨店の近隣は商店街で構成されているケースが多いが、地方の中心市街地は再開発しても他所からの店舗の移動や他所店舗の廃業を招き、結果として全体が活性化したり、パイが増えたりというケースは少ないのではないか。持続した成功例を見ると活性化や魅力化はすべて「人」に行きつく。ハードの補助だけではなく、起業意欲を持った若年層への資産の移転を促進する必要がある。中心市街地の店舗を長期間シャッター店舗にしておかず迅速な入れ替えを行う場合には税制面などでも優遇するなどの施策が必要ではないか。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	最近の円安と株高は同調しており、資産効果という面からは歓迎されるが、原料高による物価高や貿易赤字による国の財政悪化については大きな懸念がある。